



会貢献といつても、大手企業のような（マニユアル化された立派な）活動はできませんから、基本的に日常活動の延長でやっています

笑顔でそう話す上野社長。確かに上陽工業株のCSR活動は、一つひとつを見ればどれも日常的なものばかりです。

「身の回りにあることならば、社員の意識付けも難しくありません。社員一人ひとりが『何かできるのではないか』『どうすればより良くできるのか』と常に考えることが重要なんです」と、長続きする秘訣を話してくれました。

同社が明確に意識してCSR活動に取り組んだのは、5年ぐらい前から。ちょうど宇都宮商の「あらためて考える」と一緒に取り組んだのは、20年ぐらい前から、同じようなことに取り組んでいるのです。使用済みテレホンカード・缶飲料のブルタブ回収や献血などを行つ



エコキャップ運動で集められたペットボトルのキャップ

例えればペットボトルのキャップの回収「エコキャップ運動」。ペットボトルのキャップを集めて市社会福祉協議会へ持っていくと、途上国にワクチンを贈ることができまます。

「あらためて考えれば、当社では20年ぐらい前から、同じようなことに取り組んでいるのです。使用済みテレホンカード・缶飲料のブルタブ回収や献血などを行つ

工會議所青年部が「おもてなし運動」に取り組み始めた頃です。上野社長は、その運動の旗振り役として、活躍された一人でした。

「あのとき『おもてなし運動』に関わったことで、確実に自分自身の意識も変わりました」

また、同社は2000年にISO9001を取得しましたが、

その際にコンプライアンスについても社内で取り組んでいます。ですからCSRへの意識付けは、すでに社内にも土壤ができていたと言えるでしょう。

そんな同社と上野社長の、CSRへの取り組みの基本スタンスは「身近なこと、できることから」ということ。肩肘張って大上段に構えるのではなく、日常生活や通常の仕事の中で実現できることを実行していく——その考え方で、同社はすでにいくつも成果を挙げています。

## 「CSR活動に必要なのは、自ら、考えて&関わって&持続すること！」

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業をご紹介するコーナー。今回はさまざまな社会貢献活動に取り組む上陽工業株式会社の上野勝弘社長に話をうかがいました。

また、同社は「もつたない運動」にも積極的に取り組んでおられます。社長自身が「宇都宮市もつたない運動市民会議」の会長も務めておられるほど。さきほど触れた商工会議所青年部の「おもてなし運動」についても、当時の青年部会長として、現在8万部を発行している「おもてなしBOOK」の企画・作成や普及にも尽力されました。

他に栃木SCの支援や学生インターンシップの受け入れなど、挙げていけばきりがありません。「社有車には、もつたない運動推進や栃木SC応援ステッカ、地域の安心安全を支える防犯パトロール中のマグネットなどを掲示し、各自が自覚を持つ日々の活動をすることにより、少しでも地域に恩返しができると、

**CSRで輝く会社**

3回 上陽工業株式会社



代表取締役  
上野勝弘氏

「社員には、興味を持ったことはまずやつてみよう、と言つています。アクションを起こさなければ何も生まれない。考えて、関わって、持続することがCSRのポイントだと思います」

### 上陽工業株式会社

代表取締役 上野勝弘

◎業種

建設サービス業、製造サービス業、環境サービス業  
◎設立 昭和40年3月  
◎認定 宇都宮まちづくり貢献企業  
ECOうつのみや21認定事業所  
環境省チームマイナス6%  
環境にやさしい優良企業(CEPU)など

栃木県宇都宮市鶴田町189番地4  
☎ 028-648-3634(代)  
<http://www.joyokogyo.com/>



上陽工業㈱本社社屋

うれしいですね

こうしてみると等身大の活動が多い同社。上野社長は「それしかできませんから」と恥ずかしくて笑いますが、なかなかできることではありません。